

秦野市議会議員
やひろ伸二



議会だより

連絡先：
〒259-1392 秦野市堀山下1番地
TEL. 0463-88-2777 (後援会事務所)
ホームページ：https://www.shinjiyahiro.com

令和5年12月秦野市議会第4回定例会月会議報告



令和5年12月秦野市議会第4回定例会月会議が、11月30日～12月19日の日程で開催され、市長提出議案16件、報告1件、議提議案1件、陳情6件を審議・議決しました。主な内容は以下の通りです。

1. 一般会計補正予算



令和5年度一般会計補正予算は、①物価高騰対策に係る補正予算(1億454万円)、②各施策の増減による補正予算(5億2,464万円)の2つの議案に分割し提案

され可決しました。①については、日々の暮らしを守る施策として国の補助金(地方創生臨時交付金)を活用し「地域脱炭推進事業費」として対象はエアコンと冷蔵庫で最大5万円が補助されます。

私は①②共に趣旨に賛同し賛成しました。

<①物価高騰、日々の暮らしを守る施策での主な補正事業>

事業名	予算額
地域脱炭素推進事業費(※1)	6,112万円
畜産業物価高騰対策事業費	3,485万円
施設園芸等燃油価格高騰対策事業費	858万円

<②各施策の増減などによる主な補正事業>

事業名	予算額
小児医療費助成事業費	1億1,433万円
介護給付・訓練等給付費事業費	7,921万円
児童福祉・発達支援給付費事業費	5,074万円
移住定住促進事業費	4,500万円
重度障害者医療費助成事業費	2,077万円
ひとり親家庭等医療費助成事業費	845万円
国民健康保険事業特別会計繰出金	△640万円
後期高齢者医療事業特別会計繰出金	△501万円

※1:詳細はこちら↓

デコ活

くらしの中のエコろがけ

デコ活アクション 実行中

- 電気も省エネ 断熱住宅
- こだわりの暮らし エコグッズ
- 地域の中心 富み強しゼロ
- つなぐ未来オフィス テレワーク

↑詳細はコチラ(秦野市HP)へ

2. マンションの長寿命化減税

老朽化が進むマンションにおいて、長寿命化を図るために3つの適応対象要件を満たす大規模修繕工事を行った場合、固定資産税額の減額割合を設定するため改正する議案が出され、賛成全員で可決しました。



<改正の概要>

減額率	参酌基準	対象期間
1/3	1/3を参酌し、1/6~1/2の範囲内	令和5年4月1日から令和7年3月31日までの間に工事が完了したマンション

3. デジタル化に対応する組織体制へ



昨今、デジタル庁の設置やデジタル田園都市国家構想の策定などの国の動きに加え、アフターコロナを踏まえた社会的な要請から、さらなるデジタル化の

推進が求められています。本市は、その基幹的な役割を担っていた「情報システム課」の名称を、本年度から「デジタル推進課」に改め、「ICT活用推進計画」に基づいて取組みを進めています。急速に進展するデジタル化に全庁的に対応し、市民の利便性向上と業務の効率化の両面から本市におけるデジタル化を一層推進するため、総合計画、行財政改革及び財政の所管部門との連携を強化し、政策的かつ戦略的に全庁的な取組みとなるよう総務部デジタル推進課を政策部に移管する提案がなされ、賛成全員で可決しました。

私からも要望していた内容であり、さらなるデジタル化の推進を期待しています。

4. 市職員・特別職・議員の期末手当アップ

令和5年度の人事院勧告にて、下記概要が出されました。本市は勧告に沿って、市職員、特別職(市長、副市長、教育長)、市議会議員、それぞれの議案、議提議案が出され可決されました。

私は物価高騰などにより民間でも賃上げが行われていること、また、特別職ならびに市議会議員の期末手当については、一部生活給としている議員もいること、さらには、今後議員を志す方が増えることを期待し賛成しました。

<人事院勧告の概要>

【令和5年度】

- 民間給与との較差(0.96%)を埋めるため、初任給を始め若年層に重点を置いて俸給月額を引き上げる。
- ボーナスを引き上げ(一般職0.1月分、再任用0.05月分)、民間の支給状況等を踏まえて期末手当及び勤勉手当に均等に配分する。

<令和5年12月期の市職員(一般職)の期末手当の支給>

対象	支給金額
市職員(一般職)	平均(40歳4か月) 773,422円

<令和5年12月期の特別職等の期末手当の支給>

対象	支給金額	対象	支給金額
市長	2,505,585円	議長	1,401,120円
副市長	2,051,481円	副議長	1,219,680円
教育長	1,827,100円	議員	1,118,880円
		初当選議員	335,664円

令和5年12月第4回定例会議 一般質問内容 やひろ伸二



今年5月に設置された秦野市教育研究所「はだの E-Lab」の機能と現状、そして令和5年度末に伊勢原清掃工場を老朽化により停止となり、可燃ごみを「はだのクリーンセンター」1基で処理することとなりますので、減量目標の達成状況と今後について質問しました。主な内容は下記の通りです。

1. はだの E-Lab の機能

質問

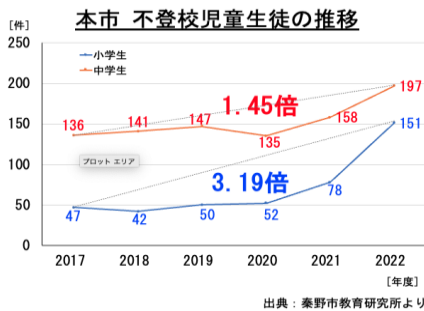


はだの E-Lab (旧大根幼稚園舎)

- (1) はだの E-Lab の機能は、①教育分野におけるデジタル化の推進、②不登校児童生徒の支援体制強化、③乳幼児教育・保育支援センターの設立準備の3つだが、それぞれの進捗状況は？
- (2) 本市の不登校の状況は？
- (3) 急増する不登校、いじめなどの問題行動に対し、今後どのように取り組むのか？

回答

- (1) ①ではタブレットを活用した試験を導入するCBT化の取り組みを進めている。②では「デジタルを活用した新たな学びの創出」や訪問型個別支援教室「つばさ」のサテライト運用、不登校関連施策の戦略的な見直しに着手している。③では「園小接続カリキュラム」の効果的な活用に向けて北幼稚園と西幼稚園をモデル地区として、発達心理学を専門とする有識者の助言も受けながら実証研究を進めている。
- (2) 本市の不登校児童生徒数は、小学校では151人で前年度比73人増、中学校では197人で前年度比39人増となっておりコロナ禍の影響も大きいと分析している。
- (3) 現在の教育課題の解決に向けて、小・中学校が一体となった義務教育学校設置の可能性について検討を進めたいと考えている。



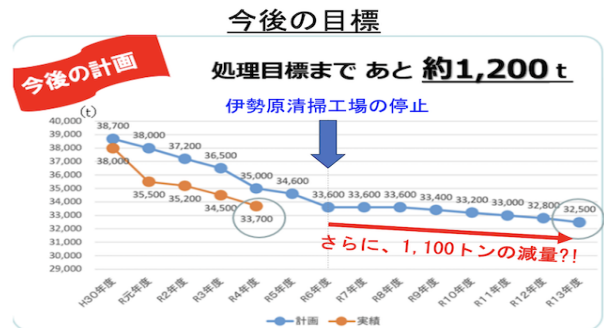
2. 可燃ごみ減量の達成状況と今後

質問

- (1) 令和6年度からは、はだのクリーンセンター1基で可燃ごみを焼却することになるが、減量目標の年間33,600トン達成できそうか？
- (2) 令和6年度以降についても、さらに令和13年度まで、1,100トン減量しなければならないというのは本当なのか？
- (3) 可燃ごみの継続的な減量を今後、どのように取り組みを行っていくつもりなのか？

回答

- (1) 本市分の目安である33,600トンまで、残りあと142トンという状況であり、仮に昨年と同様の処理実績の場合でも、本市分の目安としている33,600トンは下回る見込みである。
- (2) 本市では令和3年度に「秦野市ごみ処理基本計画」を1施設での可燃ごみ処理体制の早期実現を踏まえた計画値の見直し等を行ない、令和13年度までの計画を改定し減量目標を市民に周知している。



出典：秦野市のホームページより

- (3) 3R(リデュース、リユース、リサイクル)に対する市民の意識を向上するため、様々な減量施策を継続し、より一層分別を徹底し資源化を促進する。また、新たに容器包装プラスチックに加え製品プラスチックの資源化を推進し、さらに可燃ごみの減量に努め、「もったいないDay」の事業をシルバー人材センターへ移管することについて協議し、行政主導から民間主導でリユースに対する市民への意識啓発も進めていく。

◆◆ 意見・要望 ◆◆

不登校の原因の一つとして「中1ギャップ」があり、その回避策として「義務教育学校制度」があるが、具体的な進捗が見えない状況である。早期の進捗をお願いしたい。また、不登校となった生徒に対し学びを止めないためにも、磐田市が取り組むAIカメラなどを活用したオンライン授業などを実施して欲しい。

◆◆ 意見・要望 ◆◆

さらなる可燃ごみの減量に向け、山口県宇部市が実施している「ごみ減量アイデアコンテスト」や、これまで行政主導で実施していた「もったいないDay」を民間主導とするなど、市民のごみ減量への意識を継続できるようにして欲しい。